

6月初めの晴れた日、久しぶりに一人旅に行ってきました。行先は近江八幡市（滋賀）です。ある雑誌の表紙を飾っていた水郷と蔵の景色が記憶に残っていたからです。今回も下調べしないまま行った為の驚きと、出会った人々との楽しい思い出の旅となりました。

まず久しぶりの失敗は 切符を買うのに手間取り予定の新幹線に乗り遅れ さらに京都では事故のためダイヤが乱れ 近江八幡には1時間遅れで 12時に到着。駅から観光スポットまでバスで7分程でした。案内所で頂いた地図片手に道を入れれば 屋根の上に小屋根のついた大きな家が目の前に現れました。江戸時代では珍しい3階建ての旧伴家で明治時代以降小学校や図書館として使われていました。45畳の大広間を有し2階からは市内の半分が見渡せたそうです。800円の共通券で隣にある郷土資料館へ。ここで知ったのは 近江八幡は秀吉の甥である秀次が 1685年18歳で八幡山城主となり町並みを整備し また数キロ先にあった安土城の焼け残り後の商人達を呼び寄せ 経済的に大発展をとげた城下町ということでした。

また館内ビデオでは秀次が24歳で2代関白となるも 秀吉に拾（後の秀頼）が生まれると謀反の疑いを掛けられ 28歳の若さで切腹に至るまでのストーリーを流していました。400年前から近江八幡は琵琶湖の水ではなく 意外にも豊富な湧き水を上水道として使い その手法は近江商人の手で全国に広まったそうです。資料館の2軒隣に数十年前まで夏の必需品だった蚊帳と畳表を扱った豪商「大文字」西川家の家屋敷がありました。支店には江戸 大阪 早島(岡山)とあり 江戸時代の経済圏の広さに驚きました。道を挟んで向かいの西川家は非公開ですが 「布団の西川」の基だそうですね。そこから休む暇もなく八幡堀に沿って日牟禮八幡宮へ。すぐそばに城跡へのロープウェイ乗り場があり5分ほどで山の中腹につきます。うれしかったのは階段と手すりがしっかり整備されていて歩き易いことでした。西の丸跡からは 琵琶湖が眼下に広がりとても気持ち良かったです。頂上には 秀次を祀る瑞龍寺があると分かっていたのですが 本日の目的 八幡堀で舟に乗らなければなりません。30分の滞在時間で15分おき運行のロープウェイで下山。何とか最終便に間に合い1500円払って定員10名の屋形船に乗り 商家の白壁 アヤメを愛でながら川風を受けてゆったりのお楽しみ時間を過ごしました。船を降りてからは急いでバス停を探すため見知らぬ観光客数人と協力。おかげで駅へ向かうバスに乗車でき無事予定の17時過ぎの新快速に乗車できました。帰りは2時間で岡山に到着。安土城跡とヴォーリズの洋館建築を見るには時間が足りませんでした。いつか再訪したいと思っています。

最後に今回出会った人達について。行きバスでおつりは出ないよというのに、無言で立ち尽くす地元のおばあちゃんに「今度だけやで」と言いながら釣銭を渡す運転手さんの優しさにほっこり。レトロな食堂で出会った 2組のお客さん。「どこから来たん」と旧知の友人のように話しかけて下さり お陰で約1時間楽しく食事ができました。（この1時間が後のせわしなさに繋がったんです）

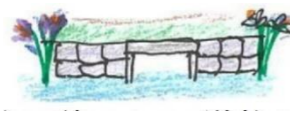
町中の至る所で見かけたガイドさん達 色々立ち聞きさせて頂きありがとうございます。お土産に赤いこんにやくと「たねや」で饅頭を買いました。



八幡堀めぐり



旧伴家住宅



暗渠(あんきょ)



鹿田薬局

第69号

楽楽ニュース

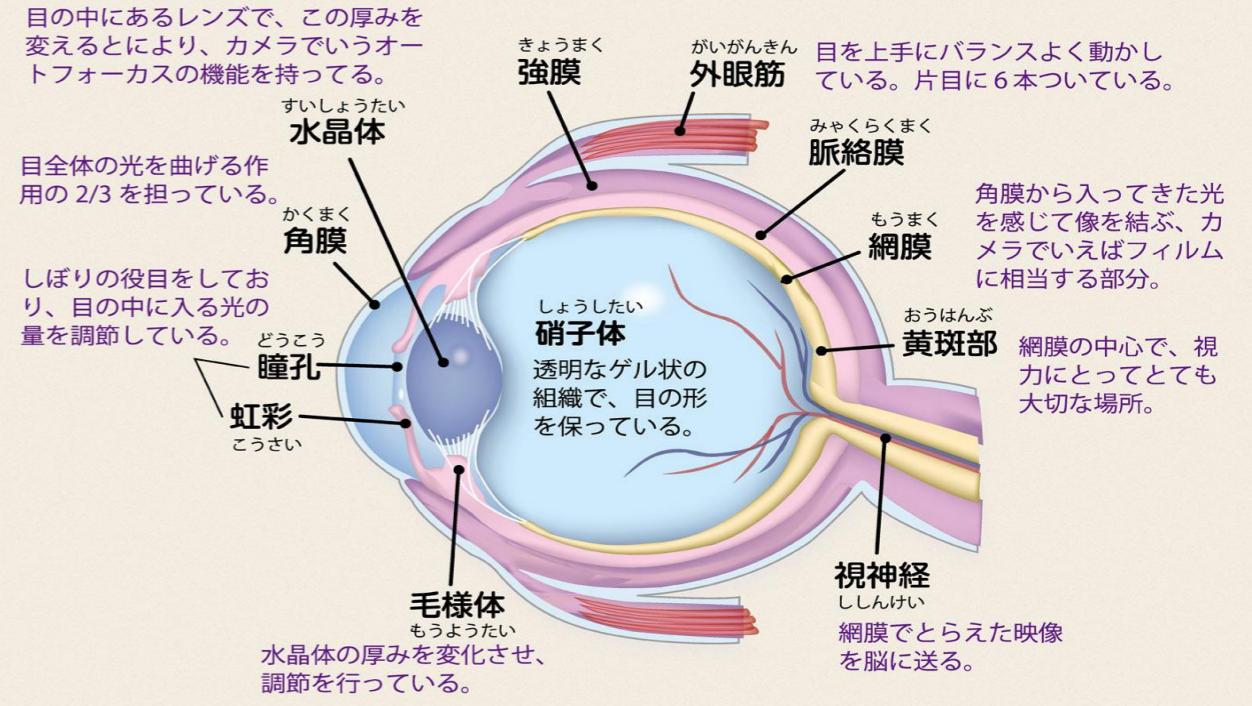
岡山市北区厚生町 2-7-15 (086)226-3711



夏季休業のお知らせ

8月10日(木)~ 8月15日(火)

### 《目の構造》



2050年には、世界の人口の半数が近視となる可能性が指摘されています。近視において、眼軸長が伸びると、脈絡膜、網膜の組織がうすくなり、血流が阻害されます。イチョウ葉(国産)がマウスによるモデルでの評価で目の脈絡膜・網膜、視神経の血流を改善することが実証されました。結果、目の脈絡膜・網膜、視神経への血流改善を計ることで、近視・緑内障の症状改善への期待が高まっています。

夏のわくわく  
どきどきキャンペーン

7月10日(月)・11日(火)・12日(水)の3日間

ご来店お待ちしております。

抽選券をお持ちの方は、抽選券の枚数ごとに1回抽選が出来ます。補助券をお持ちの方は、補助券6枚で1回抽選が出来ます。

ハズレくじ無しです。必ず当たります!